

スカウトニュース 復刊第4号
2013年3月25日発行

SCOUT NEWS



2012 (平成24) 年度 主な行事一覧

9月29日(土)・30日(日)	東西スカウト合同研修会兼本願寺派スカウト指導者研修会
11月10日(土)・11日(日)	第20回仏教ガールスカウト研修会／第8回仏教スカウト指導者研修会
1月23日(水)	評議員会
3月28日(木)～31日(日)	第7回仏教章修得のための研修会
3月29日(金)～31日(日)	第53回本願寺派スカウト中央研修会

「裏磐梯サマーキャンプ with 檜葉町の子どもたち」に参加して I

沖井 智子 (本願寺派スカウト指導者会副理事長・GS 福島県第3団)

檜葉町に支援活動が続いている「震災支援を続ける会」より、2012年7月30・31日に「裏磐梯サマーキャンプ with 檜葉町の子どもたち」を開催するにあたって、支援・協力の要請があり、本願寺派スカウト指導者会としてお手伝いをするようになりました。

1泊2日のプログラムを考えることとなり、早速、スタッフを募ると、夏のキャンプシーズンという多用の中にもかかわらず、東京教区、富山教区、石川教区、新潟教区より多くの方が集まってくださいました。

30日12時30分より、檜葉町に籍を置き、「会津の仮設住宅」、「いわきの仮設住宅」、「借り上げ住宅」に住む子どもたちが、期待に胸を膨らませてぞくぞくと集まってきます。バンガローに荷物を入れ、開会式終了後すぐにゲームを始めました。久しぶりに会う友達と仲睦まじく、時にはふざけ合いながら嬉々としてゲームに興じています。

ところが、途中から経験したことのないような大雨にみまわれました。避難のため食堂に集まり、屋内でできるゲームへと切り替えます。

雨空を見上げ、「キャンプファイヤーまでには何とか…」と睨んでみたものの、雨はいつこうに収まる気配がありません。しかし、なんとかキャンプファイヤー開始予定の10分前に雨が上がり、皆で踊ったり、歌ったりと楽しい時間を過ごしました。

31日、朝9時から裏磐梯のハイキングです。わいわいと楽しい声が五色沼に響きわたりました。

子どもたちは、「帰りたくない！」と言いながら、バスに乗って帰っていきました。「また、会おうね！バイバイ」と手を振って…。

2日間を通し、子どもたちの楽しそうな姿、嬉しそうな姿、とまどっている姿など、様々な姿を見ました。ホイッスル一つで集合する経験を、一度もしたことのない子どもたちが、初日は15分かかったのに、2日目は5分で集まりました。子どもたちの無限の可能性が感じられました。私たちにとっても嬉しい限りです。それとともに、ベンチャー、レンジャー、ヤングリーダーなどスカウト活動が続け、鍛えられたスカウトたちの素晴らしさ、スカウティングの素晴らしさを実感することができました。



「裏磐梯サマーキャンプ with 檜葉町の子どもたち」に参加して II

土山 瑛香 (GS 静岡県第 93 団リーダー)

東日本大震災から 1 年が経ち報道はとても少なくなっていたが、現地から「まだまだ助けが必要」という発信が続いていたときに今回のお話をいただいた。指導者として駆け出しの自分でも何か助けになればと思い、参加することを決めた。

特に感じたことは、さみしさを抱えている子どもが多いのではないかということ、そして子どもは強くても弱いことだ。そのように感じたのは、子どもたちが家族と離れた経験や、まだまだ苦しい環境にあ

り、普段の生活の中で、簡単に人に甘えにくい状況になっているのではないかと思ったからである。

また、震災によって心に影響があったにもかかわらず、笑顔で楽しんでもくれたことは、たくましいと感じた。しかし、一人きりや夜を恐れているのが垣間見え、やはり影響は多大なことを実感した。

些細な信号を見逃すことなく適切に対応することが、今後、ますます必要だと感じる。

東西スカウト合同研修会兼本願寺派スカウト指導者研修会に参加して

三浦 雄成 (BS 京都第 23 団ボーイ隊副長)

私は 10 年以上にわたり、西本願寺でスカウト活動をさせていただいています。ベンチャー活動を終え、指導者となり 2 年が過ぎました。今回の研修会は、浄土真宗本願寺派と真宗大谷派の指導者が合同で参加するため、今まで自分が関わることのなかった方たちとの交流を通して自己研鑽することが楽しみの一つでした。

特別講演では、田代俊孝先生より「いのちについて」の話をいただきました。「生も死も思い通りにはできない。」「いのちは人がはかることのできない不思議なもの」ということをお話しされました。

私は、何でも自分の思い通りにならないと、イライラする自分がいかに愚かな存在なのだろうかと気づかされました。“いのち”つまり“人”は思い通りにならず、だからこそ人と接することは、苦しいことも楽しいこともあるのだと思いました。

BS 日本連盟奥島孝康理事長の講演では、「ボーイスカウトはキャンプこそがスカウトにとって大切な学びである」「キャンプファイヤーでの歌や寸劇の中に楽しみがあり、自然の中で傷つきながら学ぶことが大切である」と話されました。先生のお話を受けて、ボーイスカウトは自然の中で活動するのが一番だということが再認識でき、自然の偉大さを知る

ことは、宗教とも関わりがあるのではないかと思います。また、このたびのジャンボリーへの熱い思いも語られ、第 16 回日本ジャンボリー奉仕予定の私もますます意欲を向上することができました。

1 泊 2 日でしたが、様々なことを学べ、たくさんの方とお会いできたこの研修会での有り難い御縁に感謝しなければなりません。本願寺派と大谷派の指導者が集まった研修会ということは、親鸞聖人によってもたらされた御縁です。あらためて、親鸞聖人の教えに感謝するとともに、この研修会を準備から運営された方がた、全国から参加された方がたのおかげさまであります。ありがとうございました。



第20回仏教ガールスカウト研修会 第8回仏教スカウト指導者研修会報告

石原 喜英子 (GS 福島県第3団)

2012 (平成24) 年11月10日 (土)・11日 (日) の身延山久遠寺での一泊研修会では、「いのちに合掌～安穏な社会づくり・人づくり」のテーマのもと、基調講演では身延山大学教授 池上要靖先生による「コミュニティ再生と仏教の救い」のお話をいただき、スカウト活動がコミュニティ再生の力となること、また、仏教がグリーフケア (悲嘆への支え) となる方法論を学びました。

その後、ボーイスカウト・ガールスカウトはそれぞれに分かれての研修となりました。

ガールスカウトは日本連盟事務局次長 片岡麻里先生の「活動の中でいきる信仰心」を受講し、信仰心とは真理を探究する心であり、教えを守る心・信じる心を持って努力をしている指導者が手本となって子どもたちに伝えていくことが重要で、さらに向上していかなければならないという思いを強くしました。また、ボーイスカウトは日本連盟リーダートレーナー 石神明先生と「信仰奨励について」研修しました。夕食後、グループワーク「信仰心を持ったリーダーの育成」について意見交換を行いました。

2日目は、4時に起床し身延山学生の団扇太鼓の

先導で大本堂朝勤へ参列し、境内を見学。そして「高座説教」を聴聞し、朝食後にロープウェイにて思親閣に登詣し身延山の空気を感じてきました。最後にグループワーク研修のまとめを発表し、閉会となりました。

この研修会でスカウト運動は、宗教を基盤としており、指導者は信仰心をスカウトの子どもたちと接して育んでいかなくてはならないことを再確認しました。

今回は宿坊に泊まっの研修で初体験の2日間でした。



東北教区 本願寺派スカウト団の状況について

廣畑 恵順 (本願寺派スカウト指導者会評議員・BS 浪江第1団)

教区内本派スカウト団は福島県内にあり、会津若松市に若松2団・双葉郡浪江町に浪江1団で活動を行っていましたが、福島第一原子力発電所の事故により、当浪江1団のある浪江町民は避難指示により全国に避難をしている状況がいまだに続いています。

震災後、浪江町は警戒区域に指定され、活動拠点で活動もできない状況であります。特に当団の地域には福島第一原子力発電所の事故により大量の放射性物質が放出されており、スカウトたちの年齢では将来の健康上の問題・保護者の不安から、放射性物質の多い地域では活動すらできず、またスカウトた

ちは福島県内外に避難中で、集まることも容易ではありません。

また、会津地方でも原発事故により風評被害が多く、福島というだけで、差別的な言葉を言われたり、嫌な態度をされたりと、地元の人たちも嫌な思いをします。ましてや子供たちも同じ思いでしょう。全国的に放射性物質の誤認識の方々が多くいるように感じられます。私たちは正しく学び、正しく教えていかなければいけません。正しい知識があれば、心豊かに生きていけるのです。

今後も福島のスカウトたちをはじめ全国のスカウ

トたちをスカウティングにより立派な社会人へと育てていき、間違いのない真実の教えを私たち指導者が示すことが、大事な責務ではないでしょうか。



■ 仏教章修得者名簿一覧

2012（平成24）年度 ボーイスカウト

No.	都道府県連盟	所属団	隊	名 前
1	北海道	札幌 27	VS	安田 洋平
2	北海道	札幌 27	VS	中野渡正樹
3	北海道	札幌 27	VS	中門 優里
4	北海道	札幌 27	VS	小倉 涼花
5	東 京	小平 2	VS	久保 高聡
6	東 京	小平 2	VS	堀越 佑也
7	東 京	小平 2	VS	山田 一貴
8	東 京	小平 4	VS	櫻田 隆之
9	東 京	小平 4	VS	田北 理志
10	東 京	清瀬 3	VS	氏家 尚輝
11	東 京	清瀬 3	VS	野崎 旭惣
12	東 京	清瀬 3	VS	藤橋 翔
13	東 京	東大和 1	VS	桑波田健人
14	東 京	東大和 1	VS	大宮 拓磨
15	東 京	目黒 7	VS	田中 一雄
16	東 京	西東京 2	VS	米川 綾乃
17	東 京	国分寺 1	VS	眞柄 勇徳
18	東 京	国分寺 2	VS	水越 浩哉
19	東 京	府中 2	VS	木暮 健悟
20	東 京	調布 3	VS	吉田 亮
21	東 京	町田 6	VS	城田 龍
22	東 京	町田 9	VS	佐野 千尋
23	神奈川	横浜 30	VS	高橋里奈子
24	神奈川	横浜 87	VS	山内 彩愛
25	神奈川	横浜 132	VS	山本 楓
26	神奈川	横浜 68	VS	水口海南江
27	千葉県	浦安 2	VS	辻 康介
28	千葉県	浦安 2	VS	高井 友也
29	千葉県	浦安 2	VS	高井保奈美
30	千葉県	船橋 8	VS	友弘 雄也
31	静岡県	三島 3	VS	土山 統之
32	静岡県	三島 3	VS	岡田 研司

No.	都道府県連盟	所属団	隊	名 前
33	静岡県	裾野 4	VS	藤原 一真
34	静岡県	裾野 4	VS	佐藤 光将
35	静岡県	大仁 1	VS	前田 恒星
36	静岡県	大仁 1	VS	土屋 伸晃
37	新 潟	長岡 1	VS	安部 稔康
38	富山県	高岡 29	VS	中谷 啓介
39	富山県	高岡 29	VS	高畑 瞭平
40	富山県	高岡 29	VS	堀内陽太郎
41	福 井	鯖江 2	VS	水野 康祐
42	岐阜県	岐阜 11	VS	松野 祥也
43	岐阜県	岐阜 11	VS	森 航太郎
44	岐阜県	岐阜 11	VS	河村 英果
45	岐阜県	岐阜 11	VS	上野 元揮
46	岐阜県	岐阜 11	VS	松野 志紀
47	岐阜県	岐阜 11	VS	林 慎也
48	岐阜県	岐阜 11	VS	松野早久良
49	岐阜県	岐阜 11	VS	荒堀 容佑
50	滋 賀	大津 20	VS	平野 鉄馬
51	滋 賀	大津 20	VS	清水 彩加
52	京 都	京都 50	VS	溝畑 玲央
53	京 都	京都 92	VS	佐藤 宏樹
54	大 阪	大阪 21	VS	藤野 崇志
55	大 阪	大阪 138	VS	井上 龍一
56	大 阪	寝屋川 1	VS	松村 匡浩
57	大 阪	和泉 4	VS	一見遼太郎
58	大 阪	和泉 4	VS	永野翔太郎
59	大 阪	和泉 4	BS	藤原 慶喬
60	和歌山	和歌山 21	VS	山口 遼
61	和歌山	和歌山 21	BS	山口 紗羅
62	兵 庫	阪神さくら 9	VS	竹内 仁志
63	兵 庫	阪神さくら 9	VS	野田 裕介
64	兵 庫	西宮 10	VS	松浦 航

No.	都道府県連盟	所属団	隊	名 前
65	兵 庫	芦屋 3	VS	吉田知恵子
66	兵 庫	芦屋 3	VS	大澤 茉実
67	兵 庫	芦屋 3	VS	泉谷 陽介
68	兵 庫	尼崎 14	VS	澁谷 航
69	香 川	丸亀 2	VS	平田 悠真
70	広島県	佐伯 5	VS	松浦 祐輝
71	広島県	佐伯 5	VS	砂本 義徳
72	広島県	佐伯 6	VS	中村 真理
73	広島県	安佐 6	VS	高阪 聖史
74	広島県	安佐 6	VS	高橋 脩己
75	広島県	安佐 6	VS	水口 学
76	山口県	下関 11	VS	金子 裕亮
77	山口県	下関 11	VS	岡崎 凜
78	山口県	下関 11	VS	山上 翔吾
79	福岡県	粕谷 10	VS	安部 弘輝
80	福岡県	粕谷 10	VS	松永 一平
81	福岡県	粕谷 10	VS	光岡 健
82	福岡県	福岡 14	VS	宮崎 知貴
83	福岡県	福岡 14	VS	田原 菜月
84	福岡県	福岡 15	VS	井浦 智真
85	福岡県	福岡 15	VS	蓮尾 香
86	福岡県	福岡 21	VS	井上弘二郎
87	佐賀県	佐賀 3	VS	古川 創
88	長崎県	諫早 2	VS	富永玖仁子
89	長崎県	諫早 2	VS	下 田 一 輝
90	長崎県	諫早 2	VS	才津 真子

2012（平成24）年度 ガールスカウト

No.	都道府県連盟	所属団	隊	名 前
1	東京都	126	Rn	加藤 聖奈
2	岐阜県	8	Rn	野村 唯香
3	広島県	17	Rn	飽田 裕子

■2013 (平成25) 年度 本願寺派スカウト指導者会 活動方針並びに事業計画

スローガン

仏教章を胸に

活動方針

「親鸞聖人 750 回大遠忌法要御満座を機縁として『新たな始まり』を期する消息」を体し、豊かな聞法者を育成するためのスカウティングの充実と組織拡充に努める。

重点目標

- 1 東日本復興支援活動の継続的展開
- 2 聞法者の育成ーちかいとおきての実践を通してー
- 3 組織の拡充
- 4 教材資料の発行
- 5 各教化団体との情報交換、全寺院「子どものつどい」ーキッズサンガーへの協力

事業計画

組織拡充・広報委員会

- ① 組織拡充に関する研究調査
- ② 組織拡充に関する活動
- ③ 『スカウトニュース』の発行
- ④ ホームページの運営

教材委員会

- ① 仏教章の指導者及び教導職のためのマニュアルの作成と活用
- ② 『仏教章修得ノート』・『スカウト聖典』の活用
- ③ 『「ちかい」と「おきて」の意味』の周知徹底

研修委員会

- ① 仏教章修得について
 - (イ) 仏教章研修会の充実
 - (ロ) 仏教章に対する啓発
 - (ハ) 仏教章修得者の掌握
- ② 本願寺派スカウト指導者研修会
 - ≪ 2013 (平成 25) 年 10 月 5 日 (土)・6 日 (日) 予定 ≫ 会場：京都
- ③ 第 8 回仏教章修得のための研修会
 - ≪ 2014 (平成 26) 年 3 月 28 日 (金) ～ 31 日 (月) 予定 ≫ 会場：本願寺

本年度の目標

- 1 東日本復興支援活動の実施
- 2 第 54 回本願寺派スカウト中央研修会の参加奨励
- 3 第 8 回仏教章修得のための研修会の参加奨励
- 4 本願寺派スカウト指導者研修会の参加奨励
- 5 仏教章修得者の倍増
- 6 『「ちかい」と「おきて」の意味』の活用
- 7 宗門関係学校へはたらきかけ、指導者を育成する

④第 54 回本願寺派スカウト中央研修会

≪ 2014 (平成 26) 年 3 月 29 日 (土) ～ 31 日 (月) 予定 ≫ 会場：本願寺

- ⑤ 研修スタッフ養成の実働 (B S 指導者講習会の実施)
- ⑥ 教区スカウト指導者会、スカウトクラブ研修会への協力

ガールスカウト委員会

- ① 仏教章修得への働きかけ
- ② 本派スカウト指導者の育成
- ③ 沙羅 -sara trees- (本願寺派ガールスカウトヤングリーダー) の充実
- ④ 各種行事、研修会への参加を単元取得につなげる
- ⑤ ガールスカウトリーダー研修会
 - ≪ 期日・会場未定 ≫

行事・国際委員会

- ① 具体的な東日本大震災復興支援活動の計画・実施
- ② 第 16 回日本ジャンボリー (16NJ) 本願寺派行事の実施
- ③ 海外研修の検討

— 告 知 —

第 16 回日本ジャンボリー (16NJ) 第 30 回アジア太平洋地域スカウトジャンボリー (30APRSJ)

「本願寺派スカウトのつどい」を計画

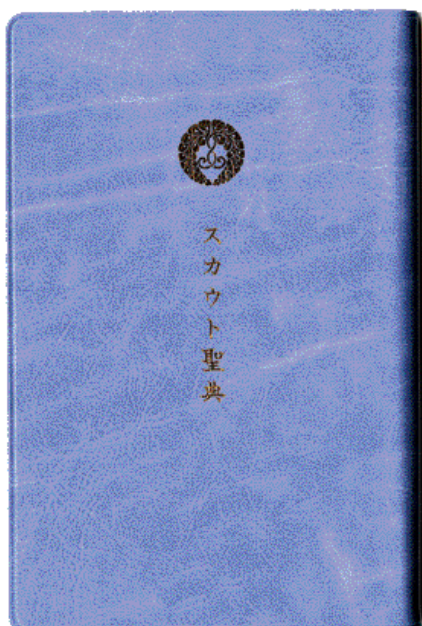
皆様ご存知の通り、2013（平成 25）年 7 月 31 日（水）～ 8 月 8 日（木）の 9 日間にわたり、山口市阿知須・きらら浜を会場に、第 16 回日本ジャンボリー（16NJ）が開催されます。

その日程中、8 月 4 日（日）が宗教儀礼の実施予定日にあたるため、本願寺派スカウト指導者会では、8 月 4 日午前に、「本願寺派スカウトのつどい」の開催を予定し、計画を進めております。正式な実施や、詳細・会場割り当て等は、決定次第、各団にお知らせいたします。日本ジャンボリーへ参加の際は、ぜひともご参加くださいますようお願いいたします。



写真：15NJ における本願寺派スカウト関連行事の様子

〔 聖典・書籍のご案内 スカウト指導者会関連書籍案内 〕



スカウト聖典

浄土真宗本願寺派スカウトの必携書です。

日常の勤行はもちろん、スカウト・オウンや、仏教章修得に向けた取り組みなどにご活用ください。

サイズは使いやすい A6 判。

価格は **840 円**（税込）

内容は、聖典（正信偈・讃仏偈・重誓偈・しんじんのうた・らいはいのうた・御文章）・讃歌（敬礼文・三帰依・念仏・真宗宗歌・恩徳讃、等）・スカウトのおきて・聖句・礼拝の作法、スカウトオウンの意味と方法などを収録しています。

お問い合わせは下記の通りです。

本願寺出版社

電話 **0120-464-583**



ボーイスカウトは何故キャンプなのか？

梁瀬 正文（本願寺派スカウト指導者会評議員・
BS 高岡第 29 団）

大自然の中へ出かけるのはとても楽しいものですね。

みなさんは、人里離れた自然のなかでキャンプをしたことがありますか？

自分を守ってくれている家族や周りの人々、そして日頃たくさんの恩恵を受けている文明社会から遠く離れ、大自然の原始的な環境の中で仲間と共にキャンプをしたことがありますか？

キャンプ初日の直面している問題は現実かつ急務、できることなら日没までにテントを立て、夕食の準備などを完了したいところです。したがって意見や考え方が違うからといって喧嘩をしている場合ではありません。お互い助け合わなければなりません。争いごとの解決策も自分たちで見つけなければ、暗くなっても事はいっこうに進まないことになります。

もちろん大人だからといっても例外ではありません。何時かは我慢の限界が来て少しずつ愚痴を言い出し、文句を言い合い、楽しいはずのキャンプが一転することになります。

このような環境でのキャンプは、自分のわがままや無力さを自覚させられ、思い知らされもします。誰もが長所と短所を持った人間同士であることを理

解し、協力や努力の大切さ、技能や知識、行動力の必要性も実感させられるでしょう。

少しでも快適なキャンプ生活を求めるならば、創意工夫や創造力を発揮しなければなりません。

また、共同生活では、役割分担とそれを成し遂げる責任感、指導性や協調性が必要であることを実感させられます。そして、人間関係の繋がりや秩序や道徳心をも必要に迫られ、やがては小さな自治の確立に繋がって行きます。

助けたり助けられたり、教えたり教えられたりして、人は深い信頼関係と厚い友情で結ばれ、お世話できる喜びや、誠実で素直な心、そして、大自然の偉大さや豊かな恵み、自然の不思議や厳しさ、命の大切さや仕組みなど、最もシンプルな摂理を理解し、謙虚で感謝のできる心が養われるのです。そして、さらに多くの経験をかさね、冒険心や開拓心、独立心をも満させ、豊かな心を育むのです。

どんなに辛いキャンプでも、力を合わせて協力し創意工夫をこらすことで、愉快的なキャンプになるでしょう。

編集後記

東日本大震災の発生から 2 年。被災地ではいまだに余震が続き、なかなか復興作業が進まず不自由な生活を送られている方も多くいらっしゃいます。そのような中で、原発事故により避難生活を強いられている檜葉町の子どもたちや、東北教区のスカウトより便りが届きました。被災地の子どもたちが心から笑って野外で活動できる日が来るよう、支援の輪を広げて行かなければなりません。

さて、今年は 16NJ があり、2 年後に

は 23WSJ が開催されます。野外活動はスカウト教育法の 1 つの大きな柱です。野外を教場に、自然から信仰心と豊かな心を学ぶ機会としてスカウトたちに対してジャンボリーへの参加を促し、「本願寺派スカウトのつどい」に是非ともご参加ください。

組織拡充・広報委員
家門 秀行（BS 宝塚第 5 団）

〔発行日〕

2013（平成 25）年 3 月 25 日

〔発行〕

浄土真宗本願寺派スカウト指導者会

京都市下京区堀川通花屋町下ル

浄土真宗本願寺派宗務所

寺院活動支援部 組織教化担当内

電話：075-371-5181（代表）

FAX：075-351-1211

HP：http://scout.hongwanji.or.jp/

復刊第 4 号